

2016「第47回全国サイクリングクラブラリーin いわき」 特集「ようこそ、いわきの見どころご案内します!!」

資料提供：いわきサイクリングクラブ 大楽様
ヨコハマミナトサイクリングクラブ 会員一同

これからご紹介いたします「いわきの見どころご案内」は、福島県いわき市在住のサイクリスト大楽（たいらく）様より寄稿していただきました。大楽様は「いわきサイクリングクラブ」に所属され、福島県サイクリング協会専務理事として、また公益財団法人 日本サイクリング協会（JCA）評議員、同じくJCA東北ブロックサイクリング協議会会長として、広域にわたりサイクリング活動にご尽力されておられます。自転車旅行はもちろんのこと、ロングライド等にも意欲的に取り組まれ、2012年より毎年開催されている東日本復興支援サイクリング「サイクルエイドジャパン」シリーズ、昨年第二回の開催を迎えた「ツール・ド・いわき」などの運営にも携わっておられます。そして2016年「全国サイクリングクラブラリーin いわき」開催に際し、地元見どころのご紹介をお願いしましたところ快くお引き受けくださいました。

「中釜戸のシダレモミジ」 いわき市渡辺町中釜戸字表前 117-2 ほか

イロハカエデの突然変異です。大小2本の樹幹は白くねじ曲がり、ところどころにコブができているのが特徴です。枝が枝垂れて傘を広げたような姿は、植物形態学的、遺伝学的に貴重です。

大きい方のイロハカエデは、傘の広がり東西約10m、南北約2m、樹高6.8m、根周り2.75m、胸高直径1.1mです(樹齢は不明)。昭和12年6月15日に国の天然記念物に指定されています。(見学無料)



「みろく沢炭坑資料館」 いわき市 内郷白水町広畑 223 番地



渡邊為雄氏による個人博物館です。長年に渡り、炭鉱関係用具・資料を収集展示しています。

露頭している石炭を掘削し、実際の石炭層が見学できます。また資料館までの道には、石炭発掘の地や石炭を発見した片寄平蔵の碑、片寄平蔵の後を引き継ぎ、炭鉱業に貢献した加納作平翁の碑があります。常磐炭田の当時の様子がよくわかります。(見学無料、無休)

「ほるる」（いわき市石炭・化石館） いわき市常磐湯本町向田 3-1

いわき市石炭・化石館は、常磐炭田の採掘の歴史と、市内で発掘された化石や、地球の歴史を物語る諸外国の化石資料を展示する施設です。

映像ルームでは数本のムービーを定期的に放映し、いわきの炭鉱の歴史や日本の炭鉱、炭鉱の仕事など炭鉱に関する資料映像をご紹介します。また生活館では、炭鉱で働いていた人やその家族の生活、いわき湯本温泉の歴史を展示しています。

（入館料：一般 650 円／中学生・高校生・大学生 430 円／小学生 320 円 休館：第三火曜日）



「鶴の足湯」 いわき市常磐湯本町三函 204 番地

鶴の足湯は、常磐湯本町三函（湯本駅北方約 500m）にあります。日本三大温泉の常磐湯本温泉を源泉とするこの足湯の泉質は、含硫黄・ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉（低張性弱アルカリ性高温泉）です。熱湯とぬる湯の二種類があります。サイクリングのついでに立ち寄り、足を湯に浸せば疲労回復にはもってこいです。

（無料：利用時間 07：00～22：00）



「国宝 白水阿弥陀堂（しらみずあみだどう）」 いわき市 内郷白水町広畑 219 番地



岩城則道公の妻徳尼が夫の供養のために建立したといわれる、平安後期の代表的な阿弥陀堂建築です。美しい曲線を描く屋根と浄土式庭園が調和した、優美な姿を見せてくれます。7月中旬から9月初旬にかけては「古代ハス」が見頃で秋の紅葉もたいへん美しい場所です。

福島県では建造物として唯一国宝に指定されています。内部には阿弥陀如来像を中心に、両脇侍の観世音菩薩像と勢至菩薩像、ならびに二天像（持国天像、多聞天像）の5体の仏像が安置されています。一見の価値あり、ぜひご見学をお奨めします。

（拝観料：大人 400 円／小学生 250 円 休館：毎月第4水曜日）

沼ノ内弁財天「賢沼（かしこぬま）」 いわき市平沼ノ内字代ノ下 104 番地

賢沼寺（けんしょうじ）は、沼之内弁財天・賢沼弁財天とも称されます。境内にある賢沼（かしこぬま、弁天沼とも呼ばれている）は、古くから魚、鳥などの殺生が禁止されています。

この沼は底なし沼とされ、どんなに雨が降らなくても干上がることがない沼で、平谷川瀬の龍門時の井戸、平城の堀、夏井川など市内の寺院や河川と地中深くでつながっているとされています。賢沼は大ウナギの生息が有名です。この大ウナギは、蒲焼きなどで食用としているニホンウナギが巨大化したジャポニカ種ウナギです。



「塩屋崎灯台」 いわき市平薄磯宿崎 33 番地



薄磯海岸の海拔 73 メートルの断崖に立つ白亜の灯台で、明治 32 年(1899 年)に開設されました。今でも沖合 40 キロの海上まで光を放ち、船の安全を守っています。映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となった灯台としても知られています。

灯台のふもとには美空ひばりの歌碑が建立され、前に立つと「乱れ髪」のメロディーが流れます。灯台は内部見学もできます。

(参観料金：中学生以上 200 円 休館：強風、悪天候時)

「マリンタワー」 いわき市小名浜下神白字大作 三崎公園

「東北の湘南」といわれるいわき市は東北地方の最南部に位置し、気候温暖で豊かな自然といで湯に恵まれ、国際港「小名浜港」を持つ近代都市として発展しています。「いわきマリンタワー」はその国際港東端の岬、海上 46m の台地に広がる、総面積 700,000 m² の三崎公園一角に立つ塔屋 59.99m の展望塔です。 海拔 106m の展望室からは、いわき一円が一望できます。屋上の「スカイデッキ」では 360 度の大パノラマが広がり、潮風をうけながら非常にエキサイティングな体験ができます。

公園内には、緑の芝生を敷きつめた広場と自然遊歩道があります。人気を集めている潮見台からは、岩壁を洗う白波と透き通った海底を眼下に望むことができます。

(入場料：一般 320 円／中高大生 220 円 休館：毎月第 3 火曜日及び 1 月 1 日)



「大國魂神社（おおくにたまじんじゃ）」 いわき市平菅波字宮前 54 番地



社伝によれば、「桓武天皇の延暦年間、征夷大將軍坂上田村麻呂が勅を奉じて東夷を征伐したとき、当地を通過し一古祠の甚だ荒蕪してあるを見、これをこの地の人に問い、はじめて大國魂神社なるを知り、勝戦を祈り、幾ばくももなくして賊平らいたために大社を築造して奉賽された」と記されています。

その後延喜式内社（えんぎしきないしゃ）となり、当地方の代々の領主たちの崇敬も厚く、江戸時代には磐城平藩主であった内藤氏や安藤氏により神輿の寄進、文書の確定および社殿の造営などが次々になされました。
※延喜式内社とは、古代より朝廷に保護されてきた格式高い神社を称します。

「いわき ら・ら・ミュウ」 いわき市小名浜字辰巳町 43-1

いわき・ら・ら・ミュウは、いわき市観光物産館の愛称です。福島県いわき市小名浜の海の駅、いわき小名浜みなとオアシス 1・2 号埠頭地区（アクアマリンパーク）に所在します。鮮魚類、海産物加工品などいわきの「おみやげ市場」として賑わい、「観てよし遊んでよし、味わってよし！」とっておきの思い出とお土産をご提供します。特設ステージではジャズやポップス、ビートルズバンドなどいろいろなイベント企画があり人気を呼んでいます。小名浜港遊覧船「いわきデイクルーズ」も運行しています。



「アクアマリンふくしま（水族館）」 いわき市小名浜字辰巳町 50 番地



建物全体がガラスで覆われた環境再現型水族館です。自然光が降り注ぐ館内に植物を展示し、生き物が生息する環境を再現しています。親潮と黒潮が出合う、福島県沖の豊かな潮目の海を再現したメインの大水槽では、カツオやマグロの回遊も見るができます。屋外に広がる「蛇の目ビーチ」や「BIOBIO かつぱの里」では、春から秋にかけて水の中に入って生き物を観察できます。また水族館の裏側を見学する「バックヤードツアー」などの体験プログラムや、子ども体験館「アクアマリンえっぐが人気です。

（入館料：大人 1800 円／小学生～高校生 900 円 休館：無休）

特集「ようこそ、いわきの見どころご案内します!!」以上